



避難行動要支援者対策のご協力をお願い

峡南保健福祉事務所
(峡南保健所)

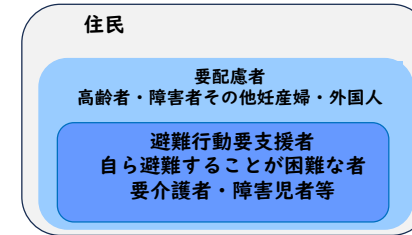
1

避難行動要支援者について

避難行動要支援者とは

避難行動要支援者とは災害時、自ら避難することが困難と思われる方で、避難等の支援を必要とする方々のことで、市町村が地域防災計画に定めています。

要介護の方、身体障害、知的障害、難病患者等



2

個別避難計画について

○令和3年度に、避難行動要支援者に対して、災害時の円滑な避難支援等につながる「個別避難計画」を作成することが市町村の努力義務とされました。

○しかし、個別避難計画の策定は進まず、新聞報道にもあったように県内の策定率は、**7.1%**（令和7年4月1日現在）、**全国で43番目**となっています。

参考：避難行動要支援者名簿の人数44,902人 策定されている要支援者数：3,188人

3

山梨県の取り組み

4

<令和6年度>

- ① 4市（甲府市、韮崎市・中央市・都留市）をモデルに策定支援
→取り組み経過を全市町村と共有
- ②標準様式を作成、優先順位の考え方を提示し、市町村と共有

<令和7年度>

- ①避難行動要支援者対策の会議の開催（6月・2月頃）
- ②市町村リーダーへの要請
- ③市町村への伴走支援・個別相談
- ④支援団体等への説明と協力依頼

避難行動要支援者の個別避難計画策定をすすめる

災害時の逃げ遅れ・災害関連死を防ぐ

5

【課題】

全市町村で策定着手済みだが、策定率は依然として低い

【要因】

- ・市町村の策定体制が不十分（防災部局と福祉部局の連携不足）
- ・自治会の協力が得にくい、避難支援者の確保が難しい
- ・日頃、要支援者と接する医療・介護などの支援関係者の理解と協力が得られていない

6

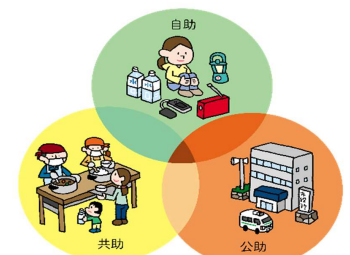
医療・介護などの支援 関係者の皆様にご協力 をお願いしたいこと

ご協力をお願いしたいこと その①
「支援が必要な本人、家族に伝えていただきたいこと」

- 災害時の備えを整えている方は少ないです。
- みなさんが支援する対象者の方は、行政の支援（公助）を必要とする方々ですが、災害時には混乱が生じ、行政での対応は難しくなります。
おそらく、みなさんも要支援者の元へすぐには行けません。
- そこで、支援の対象者の方々の現在の災害への備えはどうなっているか、継続して声をかけていただき、ご助言をお願いします。

住んでいる地域をハザードマップで確認！
災害時にどこに避難するか決めているか！
家族や支援者との連絡方法が決まっているか！
備蓄品は最低でも3日分用意できているか！
持ち出し用品が用意できているか！

*その中に、お薬手帳などその方の医療情報がわかるものも入っているか



7

8

ご協力をお願いしたいこと その②
「個別避難計画作成時の注意点」

- 個別避難計画は、個人情報に記載するため、作成にあたって**本人（又は法定代理人など）の同意が必要です。**
- みなさんが支援する対象者の方に、**お住まいの市町村から、案内がきている場合は、同意し計画をつくるように促してください。**また、計画の記載にあたってサポート役になっていただけるとありがたいです。

- まずは
「個別避難計画の案内はきてる？」
「個別避難計画は作成した？」と声かけをお願いします。

○個別避難計画は、一度つくって終わりではありません。入院したり施設に入ったりするときには、行政の担当に伝えることの声かけ、サポートをお願いします。

9

ご協力をお願いしたいこと その③
「避難行動要支援者に該当する方かもしれない時」

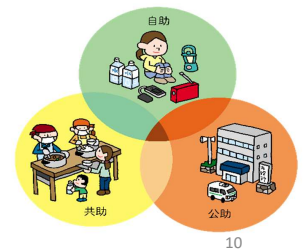
この人は避難行動要支援者かしら・・・と思ったら

- 避難行動要支援者は、市町村の地域防災計画で定められています。
- その方の同意を得て、市町村に問い合わせいただくのも方法です。

- ただし、医療・介護などの支援関係者の皆様から見て、災害になったら声かけてもらえないと避難所に行けないかな？少し心配だな？と思ったら、個別避難計画の策定と市町村への提出を進めてください。

<注意>

個別避難計画は、まずは自分で、そして隣近所で災害に備えることが基本です。災害時には、市町村も医療・介護などの支援関係者もすぐには駆けつけられないことはよく説明してください。



10

個別避難計画 記入例（県作成標準様式）

記入例

わたしの避難計画 年 月 日作成

基本情報

氏名	山梨 太郎	性別	男性	生年月日	昭和 年 月 日
住所	〇〇市△△区	自治会名(組)	△△		
連絡先	携帯電話	E-mail			
同居人	有()人	なし			
避難支援を必要とする理由	(例)パーキンソン病のため、移動に時間がかかる				
ADL	自立	一部介助			

緊急連絡先

緊急連絡先①	住所	〇〇市△△区	氏名	山梨 次郎	要支援者との関係	弟
	電話番号	090-0000-△△△△	メール			
緊急連絡先②	住所		氏名		要支援者との関係	
	電話番号		メール			

避難支援者

避難支援者①	住所	〇〇市△△区	氏名	山梨 花子	要支援者との関係	妹
	電話番号	090-XXXX-△△△△	メール			
避難支援者②	住所	〇〇市△△区	氏名	Aさん	要支援者との関係	隣の家
	電話番号	090-0000-△△△△	メール			
避難支援者③	住所	〇〇市△△区	氏名	Bさん	要支援者との関係	同じ組
	電話番号	XXX-0000-△△△△	メール			

避難経路図

避難先

・パーキンソン病のため、時間によって手が震えてしまう・転倒しやすいため、支えてもらいたい

自宅より徒歩〇〇分杖にて歩行可能

〇〇避難場所

コンビニ

家

11

まとめ

- ・災害時の逃げ遅れ、災害関連死を防ぐためには、早期に避難行動要支援者の計画策定をすすめることが重要です。
- ・しかし、災害時の備えを整えている方はまだ少なく、市町村だけですめることは困難です。
- ・日頃から、生活状況をよく把握しており、信頼関係もある医療・介護などの支援関係者の皆様のサポートが極めて重要です。
- ・近所づきあいが少なく、周囲に助けを求めることが難しい方も多い中では、医療・介護等の支援者が背中を押していただく力はとても大きいです。
- ・まずは、災害の備えがどうなっているか声をかけてください。
- ・なお、県内市町村では、必要な事項が記載されていれば、標準様式の個別避難計画を受け取っていただけることになっています。

12